

## 第 77 回音シンポジウム「pu センサを用いた音響計測の現状と可能性」

主催：日本建築学会 環境工学委員会 音環境運営委員会 建築音響測定法小委員会  
日時：2017年2月2日（木） 13:00～17:00  
会場：建築学会 3階会議室（東京都港区芝 5-26-20）

音圧-粒子速度センサ（pu センサ）を用いた材料の吸音率計測等に関して、多くの検討が行われている。さらに、pu センサの適用範囲はこれらの計測に留まらないはずであり、非常に有効な計測結果が得られるセンサと考えられる。一方で、本センサは、音響技術者にとっても手軽に扱える計測器でないことも実情であろう。その理由として、センサの取り扱いや校正の難しさ、計測結果が確からしいかどうかの判断がつきにくい点等が挙げられる。さらに、使用機会が少ないために、漠然と「敷居が高い」と思われている点も否定できない。そこで、本小委員会では校正方法や pu センサを用いた室内の音響エネルギー密度計測を検討している。本シンポジウムにおいて、本小委の成果報告に加え、pu センサによる計測の経験がある研究者に、pu センサを使用した際の経験談(苦労話や失敗談も)にふれながら、研究成果や実測事例を講演していただき、本センサを用いた計測上の留意点やさらなる可能性について討議する。

### <プログラム>

司会：杉江聡(小林理学研究所／小委主査)、平光厚雄(国土技術政策総合研究所／小委幹事)

1. 主旨説明 杉江 聡 (前掲)
2. pu センサの校正方法の検討 杉江 聡 (前掲)
3. 吸音率測定における pu センサ校正結果が与える影響 大鶴 徹 (大分大学)
4. pu センサを用いた自由音場法による吸音率計測 廣澤邦一 (日本音響エンジニアリング)  
休憩(15分)
5. pu センサを用いた室内の音響エネルギー密度計測 竹林健一(鹿島建設)
6. pu センサを用いた音響エネルギー密度計測の応用例 平光厚雄(前掲)
7. pu センサを用いた界壁遮音性能の検討事例 會田 祐(長谷工コーポレーション)  
/東京大学・新領域)
8. 粒子速度による特殊音場特性の観測 岩瀬昭雄(新潟大学)
9. pu センサを用いた粒子速度分布の測定例 小泉穂高 (戸田建設)  
総合質疑(15分)

参加費：会員 2,000 円、会員外 3,000 円、学生 1,000 円（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：~~50名~~ → 60名（申し込み先着順） ★定員を増やしました

申込方法：Web 申し込み <https://www.aj.or.jp/index/?se=sho&id=1672> よりお申し込みください。

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 一ノ瀬

TEL03-3456-2051 E-mail : [ichinose@aj.or.jp](mailto:ichinose@aj.or.jp)